

平成27年度 教育事業 おおすみくん家 新春書き初め大会

- 1 趣 旨 日本における書の伝統と文化を通して、青少年の交流を促進するとともに、伝統と文化の理解を深め尊重する態度を養い、生涯にわたり書を愛好する心情を育てる。
- 2 期 日 平成28年1月5日(火)
- 3 対 象 者 小学3年生から中学生
- 4 募集定員 80人
- 5 参 加 者 席書参加者 小学生31人 中学生11人 計42人
保護者・引率者等 20人
鹿児島県立鹿屋高等学校書道部員(顧問) 19人
- 6 審査員等 審査員 書道研究遊墨会(茶園光暉 江口渓流 安永韜光)
講 話 鹿児島県立鹿屋高等学校書道部顧問 茶園 景子



7 日程と主な活動

時 刻	活 動 内 容
9:30	受 付
10:00	開会式〔第1学習室〕 1 開会のことば 2 歓迎のあいさつ 3 日程説明
10:20	席 書 1 練 習 2 清 書 清書用紙を5枚配付し、その中から1作品を提出
11:50	片付け
12:00	昼 食 休 憩
12:30	作品審査〔第1学習室〕
13:00	書道パフォーマンス〔プレイホール〕 鹿児島県立鹿屋高等学校書道部
13:40	アンケート記入 〔第1学習室〕
13:50	表彰式〔第1学習室〕 講 話
14:10	閉会式〔第1学習室〕 1 閉会のことば 2 諸連絡
14:20	解 散



8 事業運営について

本事業運営については、次の点に留意してプログラムを立てた。

- (1) 大隅地区，霧島市，都城市方面の小中学校及び書道教室等に広報し，遠方からも参加しやすいように送迎バスを準備した。
- (2) 課題は新春にふさわしいものであることを条件に自由とした。
また，使用する用紙は，半紙，八切，条幅の3種類から自由に選べるようにした。
- (3) 昨年度の反省を生かし，書道用具等の忘れ物については，柔軟に対応できるよう配慮した。



9 事業の実際

- (1) 席書の会場を用紙の種類ごとに分け，スペースを広くとれるようにした。また，正しい姿勢で書けるようにするために，スポンジマットを準備して席書環境を整えた。
- (2) 開会式での説明事項等を整理・精選することで，席書の時間を長くした。
- (3) 指導及び作品審査，表彰状記名を鹿屋市の「書道研究遊墨会」に依頼し，事業の運営内容や方法についてもアドバイスをいただいた。
- (4) 書道の楽しさや面白さを味わえるようにするために，席書だけでなく，地元の高等学校書道部員による書道パフォーマンスを観覧する時間を設けたところ，参加者には好評であった。
- (5) 遠方からも参加できるように都城方面への送迎バスを運行したところ，15人が利用し，書き初め大会に参加した。
- (6) 小学3・4年生の部，小学5・6年生の部，中学生の部ごとに，金賞，銀賞，銅賞を設け，合計22作品を優秀作品として表彰した。



10 成果

子供たちは意欲を高めながら，時間いっぱい真剣に席書に取り組んでいた。

子供たちは，高校生の書道パフォーマンスを観覧したり，書に関する講話を聞いたりしたことで，より書道に対する興味や関心を高めることができた。

「書き初めに来て，習字の素晴らしさが分かったと思います。」

「自分の力を試すことができたから良かった。」「書道パフォーマンスがとっても心に残りました。」といった感想が多く寄せられ，参加者の満足度は高かった。

地元のスーパー「ブラッセだいわ鹿屋店」の協力で，入賞作品の展示会を開くことができ，当施設の広報にも役立った。

小学校3年生以上が対象であったが，興味関心の高い小学校1・2年生から5人の申込みがあった。(実際の参加は4人)

